

Table with 4 columns: 事務事業名, 政策名, 施策名, 基本事業名. Includes details for 'ファミリーサポートセンター事業' such as '健康福祉部', '子育て支援課', and '田中 孝治'.

1 現状把握の部

(1) 事業概要

Table with 3 columns: ①事業期間, ②事業の内容, ③開始したきっかけ. Details include '単年度のみ' and '乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として...'.

(2) トータルコスト

Table showing costs and personnel. Includes '①事業費の内訳(概要)' with items like 'アドバイザー賃金' and '②延べ業務時間の内訳'. A summary table at the bottom shows 'トータルコスト(A)+(B)' with values for 21-25 years.

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Table for '手段' (Means) with '① 主な活動' and '⑤ 活動指標'. Includes '23年度実績' and '24年度計画' with specific activity metrics like '活動取扱件数'.

Table for '目的' (Objectives) with '② 対象' and '③ 意図'. Includes '⑥ 対象指標' and '⑦ 成果指標' with metrics like '利用した児童数' and '利用件数/依頼件数'.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ① 事務事業を取り巻く状況, ② この事務事業に関する改革改善の取り組み経緯, ③ この事務事業に対して関係者からの意見や要望. Includes text about 'ファミリーサポート制度' and '利用者数の増加に伴い...'.

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図: 安心して働くことができるような環境づくりをすすめる ↓ 結果: 地域の子育て機能を高め、市民相互援助精神を醸成(地域全体の助け合いで子どもを育てる)
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 地域の子育て機能を高め、次代を担う児童の健全育成を図ることは公共団体の責務であり、市町村がその責務に応じて補助を行う必要があるため。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 国の基準に準じて実施しているため適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ ・アドバイザーや会員の資質向上に向けた研修の充実と会員交流会への積極的な参加 ・「地域で子育て」という住民意識の醸成・高揚や気軽に利用できるようにするため、積極的なPR ・土日祝日における緊急時でも対応できる体制づくり
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 廃止に伴い、仮に事業運営費を利用料等で補ったとしても、利用しづらく、子育てしにくい環境となる
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 「次世代育成支援対策交付金交付要綱」に基づき、ファミリーサポートセンターを運営している。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 事業実施主体の負担増←事業費(助成額)削減 ↓ 地域住民の負担増→事業規模縮小→地域の子育て支援機能低下→地域の"絆"希薄
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ アドバイザーの手配や関係支出程度の最低限の人件費で実施しているため、これ以上削減の余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 0歳から小学校6年生までの児童のいる世帯が利用対象ではあるが、雲南市に住所又は勤務先を有する者すべてが提供対象である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	様々なタイプの育児サポート体制や子育てを支えるシステムがあつてこそ、子育て支援の充実が図られることから、同事業においても他の事業(一時保育事業や放課後児童対策事業など)とのさらなる連携を図る必要もある。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 地域住民が、気軽に利用できるよう、積極的な制度周知やPRも必要→援助会員を中心に会員確保 利用者数の増に伴い体制強化、コスト増も検討していく必要がある。 ・アドバイザーや会員の資質向上に向けた研修の充実と会員交流会への積極的な参加 ・「地域で子育て」という住民意識の醸成・高揚や気軽に利用できるようにするための積極的なPR ・土日祝日における緊急時でも対応できる体制づくり	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 援助会員を中心に会員確保																						